

郷

のストーリー



メロンの世話をする菊沢啓さん



一宮町では、稲作や、トマト、メロンを中心とする施設園芸、梨の栽培などが盛んです。農業は、町の基幹産業として、特に戦後の一宮町の経済的発展を支えてきました。現在では、トマトやメロン、梨に「長生」の名称が付されてブランド化されるなど、一宮町の農産品は全国でも有数の品質を誇っています。近年は、担い手の高齢化や後継者不足など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。一方で、イチ

ゴなどの新産品に取り組み農家、最先端の技術を取り入れて収量や品質の向上を図る農家、有機栽培で付加価値を付けて消費者に直接販売する農家など、様々な工夫によって新しい農業にチャレンジする農家も増えています。今後は、先進技術の導入、販路の開拓、6次産業化の推進などによって農家を支援し、町の農業の発展を図ります。

(産業観光課長 小関秀二)



稲刈りをする室川常夫さん



実り豊かな明日を拓く

大地への慈しみに込められた祈り



いちご狩りを楽しむ家族



梨を選別する緑川さん一家



梨を収穫する緑川裕乃さん